

検討結果について発表！

最後に、取りまとめたプロジェクトシートについて発表いただきました。

We love 坂出 Make Up 計画



「さかいでであそぼ？」 プロジェクト



イケオジ補完計画



坂出の財源（手取り）を増やす



Reborn 坂出



- 坂出に住みたくなる魅力をつくったり、買い物や自動運転をはじめ、安全で便利に暮らせて、10～30年後も「幸せに暮らせる」イメージができると良い。
- 大学で外にでて、外で吸収したものを坂出に活かしてもらいたい。更に、友達をつれてUターン帰省(坂出で楽しい思い出づくり)してもらうためのUターン割りもあると良い。
- 駅の活性化として、四国の玄関口として、四国中の重いお土産を坂出駅構内で買える仕組み＝坂出ヘビットを実施してはどうか。
- 坂出市民全員が個々で楽しく、幸せに暮らしていることをPRすることでファンや観光客を増やすことにつながるのではないかな。

- 若い人に自信をもって、坂出においでと言えるようなまちづくりがしたい。
- 芸術、アート、音楽、アニメ等といったフックとなるものを通じて、坂出が芸術で盛り上がるようなバックボーンを醸成していく必要がある。
- 例えば、音楽であれば、機会やチャンス等をつくり、オーディションを行い、若い人の参加やきっかけづくりを行うことで、まちの機運を高めていく。
- 新たなスターを輩出していけるような仕組みができると良い。

- まちとしてブランド不足。シビックプライドが弱い。
- 坂出に遊びに行きたくなるまちにしたい！
- 大人が元気になり、若者と連携する。個人個人がちゃんと評価されるように。
- まち全体を盛り上げるためには個人個人が結果をだして自信を持つことが大事！
- まちで活躍するおじさんを評価して、認めてあげる。おじさんが観光地になる。
- 「うちのまちのおじさん、イケているぞ！」とPRして、坂出に来てもらう。若者にも帰ってきてもらって、一緒に何か取り組んでみるのも良い。

- 財源に限られる中で、選択と集中を行い、収入を増やしながら、節約する。
- 収入を増やす面は、駅前にイオンが復活すると聞いたので、イオンの中に企業を誘致することで働く人も増える。
- 大学の誘致も行い、企業とタイアップして、学生が香川県に残り、働き手も残す
- 坂出市のイオンができたら、駐車場も増えるので、市民ホールがもっと使えるのではないかな。スポーツ観戦やライブビューイング等もできると良い。

- 光と人が行き交う商店街にする！
- 外灯がある商店街があると、散歩もするし、人も集って、循環する。
- 最近、外国人の方も増えてきたので、外国のお店をつくったり、クルーズ船を呼ぶなども良い。
- イベント参加も好きな人が多いとのことで、ポップアップ的な取組も検討できると良い。

次回

第4回 未来に向けて私たちができること

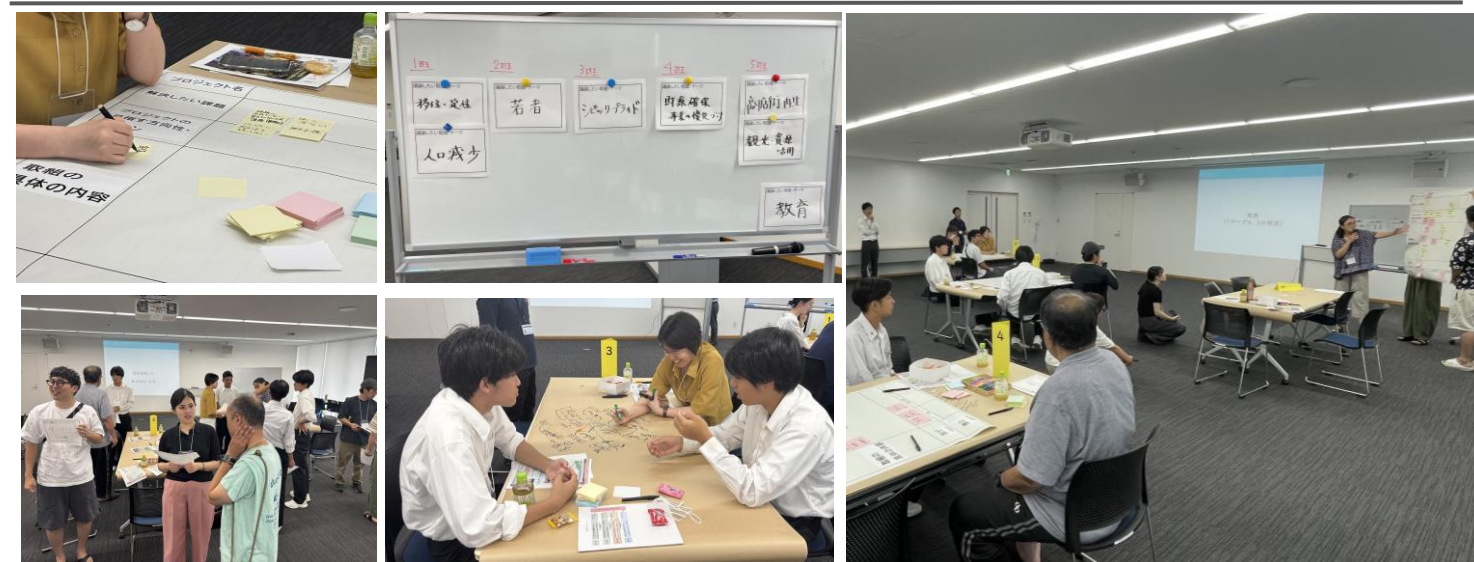
日時：8月23日（土）13：00～（3時間程度） 場所：市役所本庁舎 本館2階 大会議室

令和7年8月

No.03

坂出市 政策課
Tel:0877-44-5001
Fax:0877-44-5032

坂出まちづくり ワークショップ ニュース



3回目は前回検討した将来像を踏まえて、 その実現に向けた重点プロジェクトを検討しました！

坂出市では、平成28年3月に地域のめざすべき将来像を示した「坂出市まちづくり基本構想」を策定し、これまで市民の皆様との共創によるまちづくりを進めてきました。この度、新しい「坂出市まちづくり基本構想」を策定するにあたって、「めざすべき将来像」や「新しいまちづくり」について、市民の皆様とともに考える「坂出まちづくりラボ」を開催することとなりました。

連続4回の企画で、3回目を8月9日に開催し、計17名に参加いただきました。ワークショップでは、「未来のまちの重点プロジェクトを考えよう！」をテーマに、前回検討した将来像を踏まえ、その実現に向けて必要となる取組（＝重点プロジェクト）について、対話・検討していただきました。

ワークショップの予定

第1回 **キックオフ!まちの通信簿を考えよう!**
(7月12日)
まちの良いところ、気になるところの整理

第2回 **2050年のまちのキャッチコピーを考えよう!**
(7月26日)
まちの将来像や方向性を検討

第3回 **未来のまちの重点プロジェクトを考えよう!**
(8月9日)
今後10年で特に取り組むべき取組について検討

第4回 **未来に向けて私たちができること**
(8月23日)
自分や地域で取り組めることについて検討

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 概要説明
3. 前回の振り返り
4. ワークショップ
 - ・方法説明
 - ・アイスブレイク
 - ・話を膨らませたい取組ごとにグループ編成
 - ・プロジェクトシートに沿って内容を検討
 - ・プロジェクトで解決すべき課題や目指す方向性
 - ・プロジェクトの具体的な取組等
 - ・発表
5. 閉会

まちづくり基本構想に反映

未来のまちの重点プロジェクトを整理しました！

プロジェクトシートによるワーク

- ・ワークショップでは、前回検討した将来像の実現に向けて必要となる取組について対話を行い、検討したいテーマを参加者に選択してもらい、テーマごとにプロジェクトチームを組んでいただきました。
- ・プロジェクトチームでは、以下に示すプロジェクトシートの項目に沿って、各プロジェクト(取組)の内容を検討いただきました。

	1班	2班	3班	4班	5班
テーマ	移住・定住／人口減少	若者	シビックプライド	財源確保(事業の優先づけ)	商店街再生／観光・資源活用
プロジェクト名	<i>We love 坂出</i> <i>Make Up 計画</i>	<i>「さかい」であそぼ?</i> プロジェクト	<i>イケオジ補完計画</i>	<i>坂出の財源(手取り)を増やす</i>	<i>Reborn 坂出</i>
課題	・人口 5万人キープ (現在、出産できるのは回生病院だけ) ⇒この内容も解決できると良い	・課題が「分かっていない」「見えていない」が課題(無関心) ・地域に興味を持ってほしい ・帰ってこない ・郷土愛 ・仕事 ・自信＝遊べる所、坂出で遊ぼう！ ⇒立地悪い ・スポーツ、アニメ、音楽、Food	・評価されにくい ・ブランド力不足 ・有名人がいない ・外から人が来ない	・お金を使う優先順位 ・無駄なお金を使わない ・市のお金をどうやって集めるか ・花火の有料化で収入を増やす ・地元企業の PR ・企業誘致 ・駐車場が少ない	・坂出市民が商店街の重要性を感じていない ・高校生はお金を使って遊びたい ・子供のころの商店街が、都会のイメージだった(今は、寂しい…) ・若者が坂出から出て行ってしまった＝人口減少 ・駅前の大型スーパーが閉店 ⇒商店街シュリンクの原因に… ・商店街の案内板 ・若者がチャレンジする場所を作る ・坂出駅の乗降客の多さを活かす ⇒商店街まで来てほしい
プロジェクトの方向性	・定住者を増やす ⇒坂出に住みたくなる魅力をつくる ・Uターン者を増やす ⇒Uターン割り、うどんのサービス、ファストパス ・サポーター(坂出のファン)を増やす ・観光客を増やす	・必要最低限の都市機能を持ちつつ…、フックとなるようなものを…！！ ＜例＞ 芸術：アート・音楽・アニメ (感性を磨く) ↓ 海岸フェス・サンセットライブ	・「さかい」であそぼ」になる町にしたい ・大人がやる気が出る ・若者が大人に興味を持つ ・個々で結果を出しやすい	・駅前の施設をでかくする ・今ある施設の活用 ・市民ホール・体育館で収入を ・時代に合った施設、イオンの復活！	・光と人が行きかう商店街に！ (光があると、人が歩いたり、集まったりする) ・目指すもの：子供が喜ぶ、大人が楽しめる ・買い物する場所⇒人が集える場所作り ・商店街が暗いので明るくしたい ・足を留めたい町 ・行きたい場所にする(他県の人) ・ひとつ大きな目的を作る
取組み	(定住・移住) ・店(買い物)が便利 ・最新技術、インフラ、自動走行タクシー・バス 安全に暮らせる ・移住手当 (観光客・ファン) ・駅の活性化、坂出ヘビット ・新幹線を坂出に(みんなで) ・坂出での暮らしをアピール (その他) ・カヌーを活かす	コンセプト設計 ↓ 誰に：若者・市民 何を：芸術を核とした坂出復興！ どのように：フックとなるようなもので ▶ 若者(文化祭的)フェス ⇒スター育成 ⇒成功できる町 さかいで ⇒選ばれる道のり、市民票 ↓ 提案 ↓ 予算期間・施策・学校を呼ぶ	(イケオジの観光地化) ・学校でイケオジ演説 ・イケオジを紹介 ・トレーディングカード ・ゲーム化 ・イケオジカレンダー ↓ ・目標となるイケオジを制定 ↓ 地元に戻ってくる理由・目標づくり クアドラティックボーディング	・企業誘致 ↓ ・情報系(グーグル)技術(半導体) ・ライブビューイングでスポーツ観戦・映画鑑賞 - 大学誘致 企業とタイアップ ↓ 日本海水	・日本人店主の外国籍料理レストラン(入りやすい) ・人気店を出店する(専門店) ・坂出の港にクルーズ船を呼ぶ ・定期的なイベントの実行(POP UP) ・人工土地、ベトナムみたいに(九龍城) ・他県の事例を参考にして、商店街の再生(補助金) ・常設展示(観光)：太鼓台 ・総おどり→多様性を！：サンバ(ブラジル) ・史跡の町府中と湖畔と岸辺のキャンプ場を作りたい！ ・綾川河川の再開発

